
Hybrid HTO における
MK wedge blade による
骨切除

株式会社 ミヤタニ

<MK wedge blade での骨切除手技>

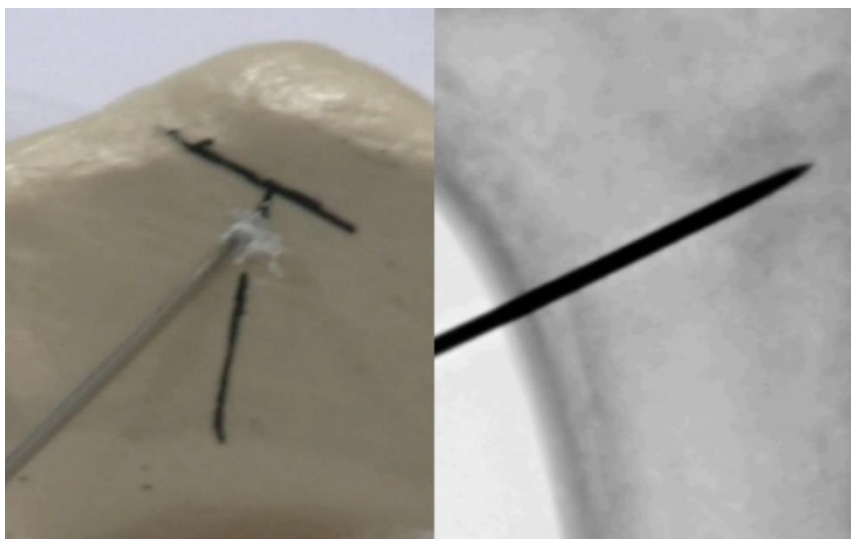
- 1) K-wire の刺入
- 2) K-wire のカット
- 3) 脛骨前方フランジの骨切り
- 4) MK wedge blade での骨切除

1) K-wire の刺入

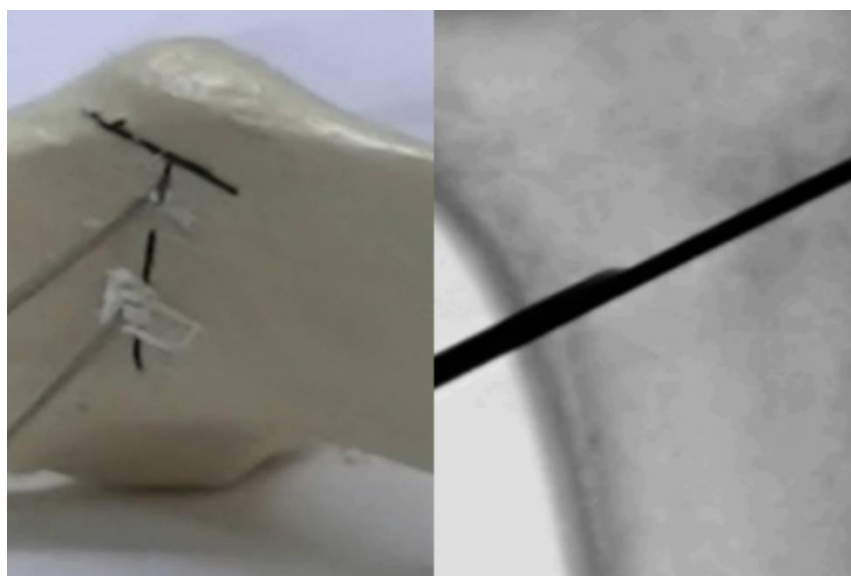
脛骨外側から Hybrid Closed Wedge HTO 手技に準じ、内側に向けて K-wire を 2 本刺入します。

※K-wire の先端は、内側骨皮質を貫いても良いでしょう。

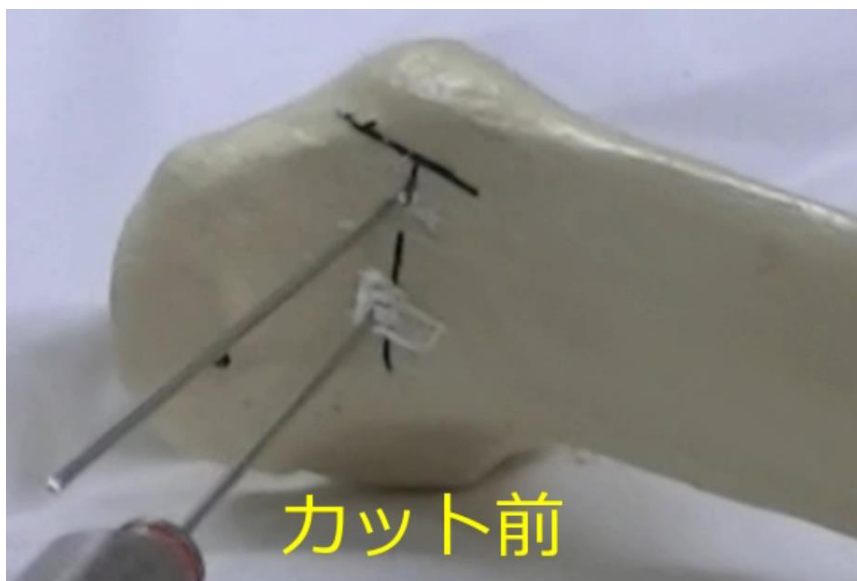
1-1) 1 本目の K-wire を刺入します。



1-2) 2 本目の K-wire を刺入します。



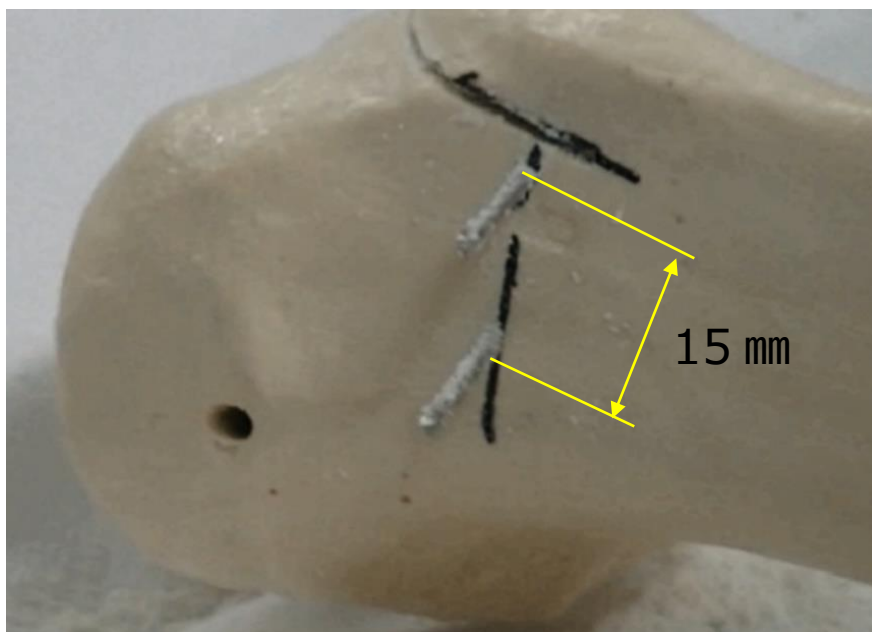
2) 2本のK-wireを短くカットします。



※ハンドピースに接触しないように、K-wireを短くカットします。

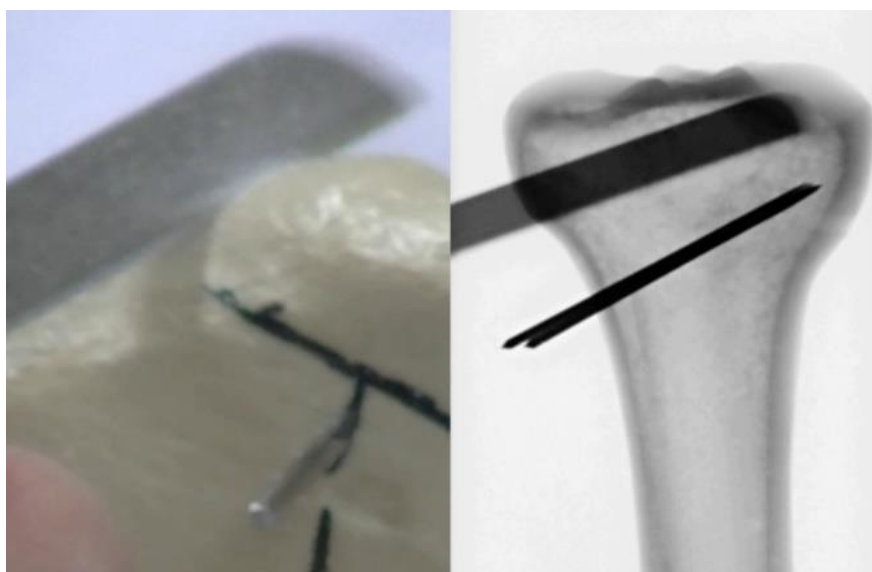


※ blade の幅が 20 mm のため、K-wire の刺入間隔は 15 mm 程度と
します。



3) 脛骨前方フランジの骨切り

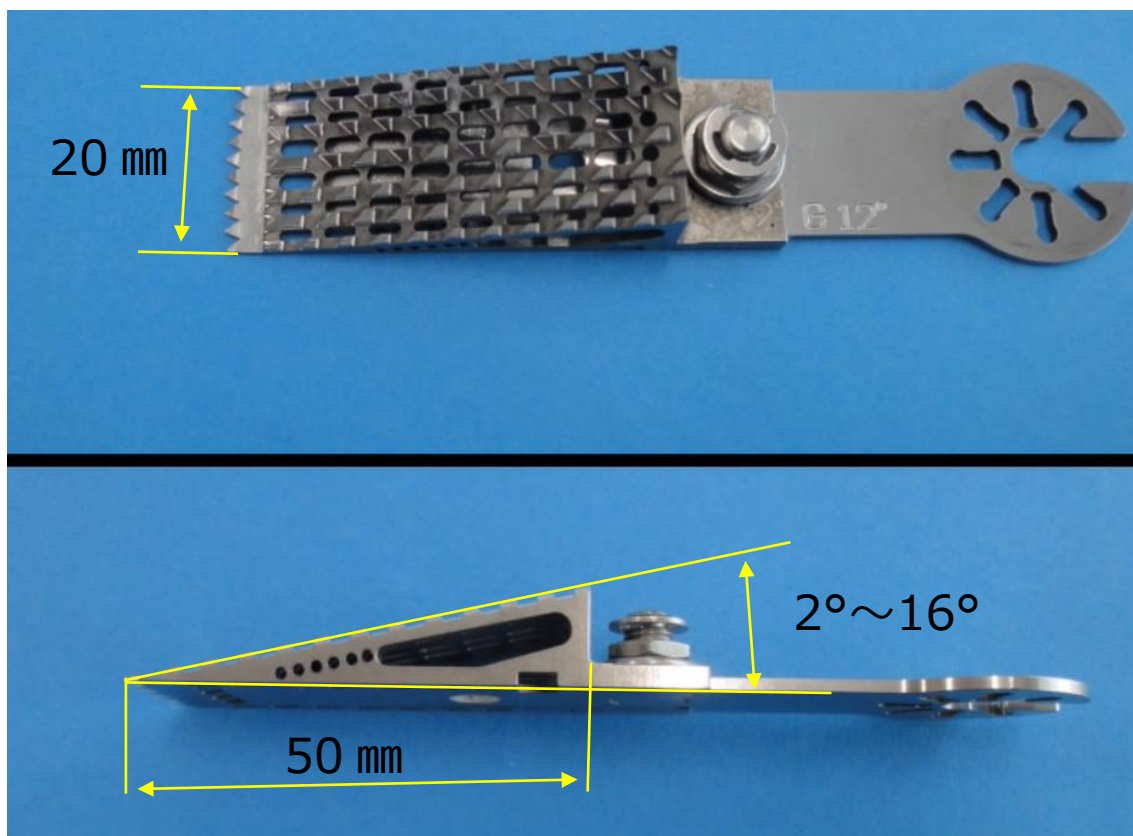
※前方フランジを通常の方法で作成します。



4) MK wedge blade での骨切除

4-1) MK wedge blade 寸法

- ① 角度は 2° ~ 16° まで 2° きざみ 幅 20 mm×切除長 50 mm



4-2) 切除時の注意事項

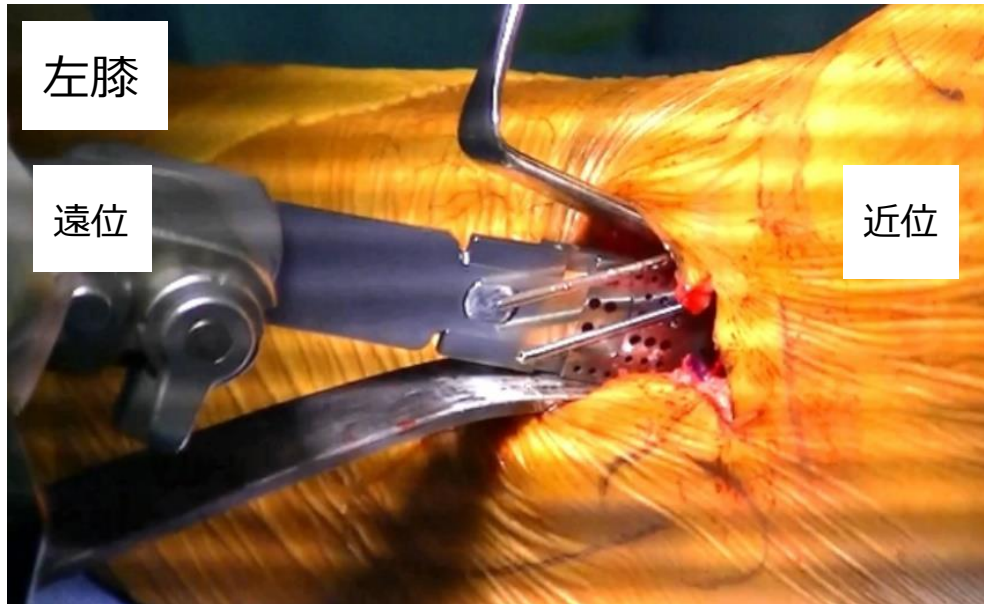
両手で強くしっかりとグリップしてください。



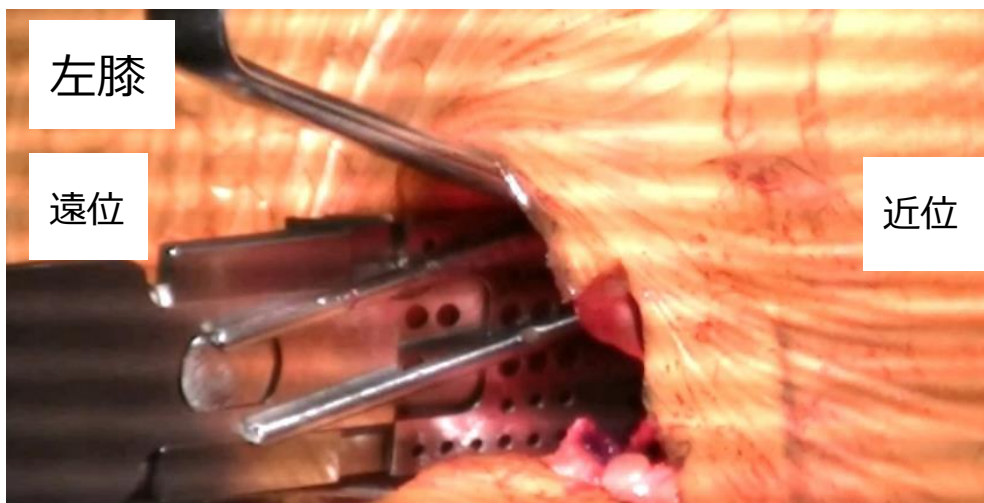
画像のようなグリップは、切除時ハンドピースの安定が保てません。



- ② 後方軟部組織の損傷を防ぐために、神経血管束をレトラクターで保護します。

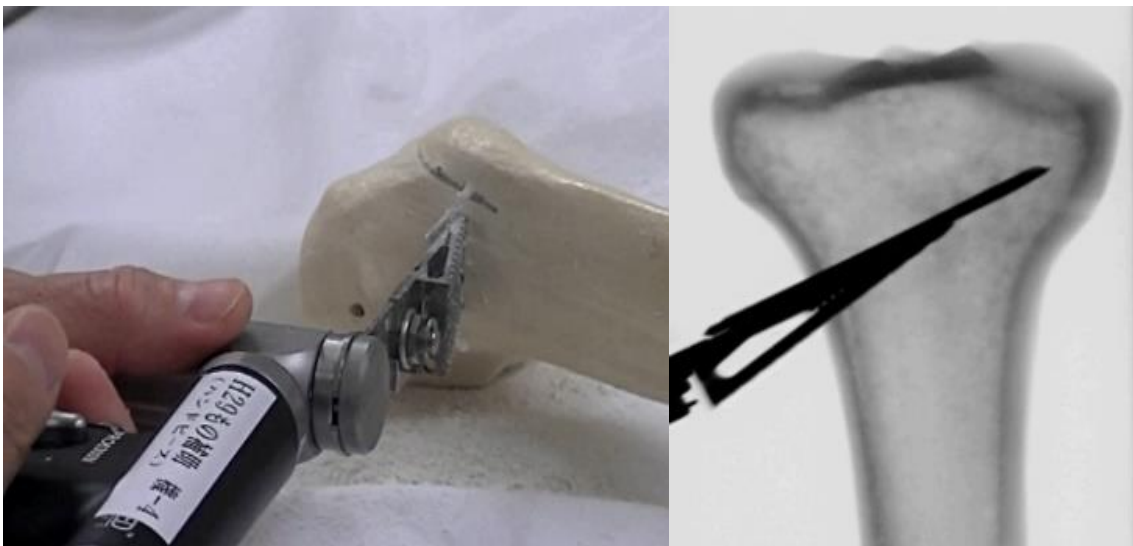


- ③ MK wedge blade の平滑な面を K-wire に当てて、内側部へ押しながら骨切除します。



④ blade 使用時、生理食塩水などで blade を、冷却しながら骨切除します。

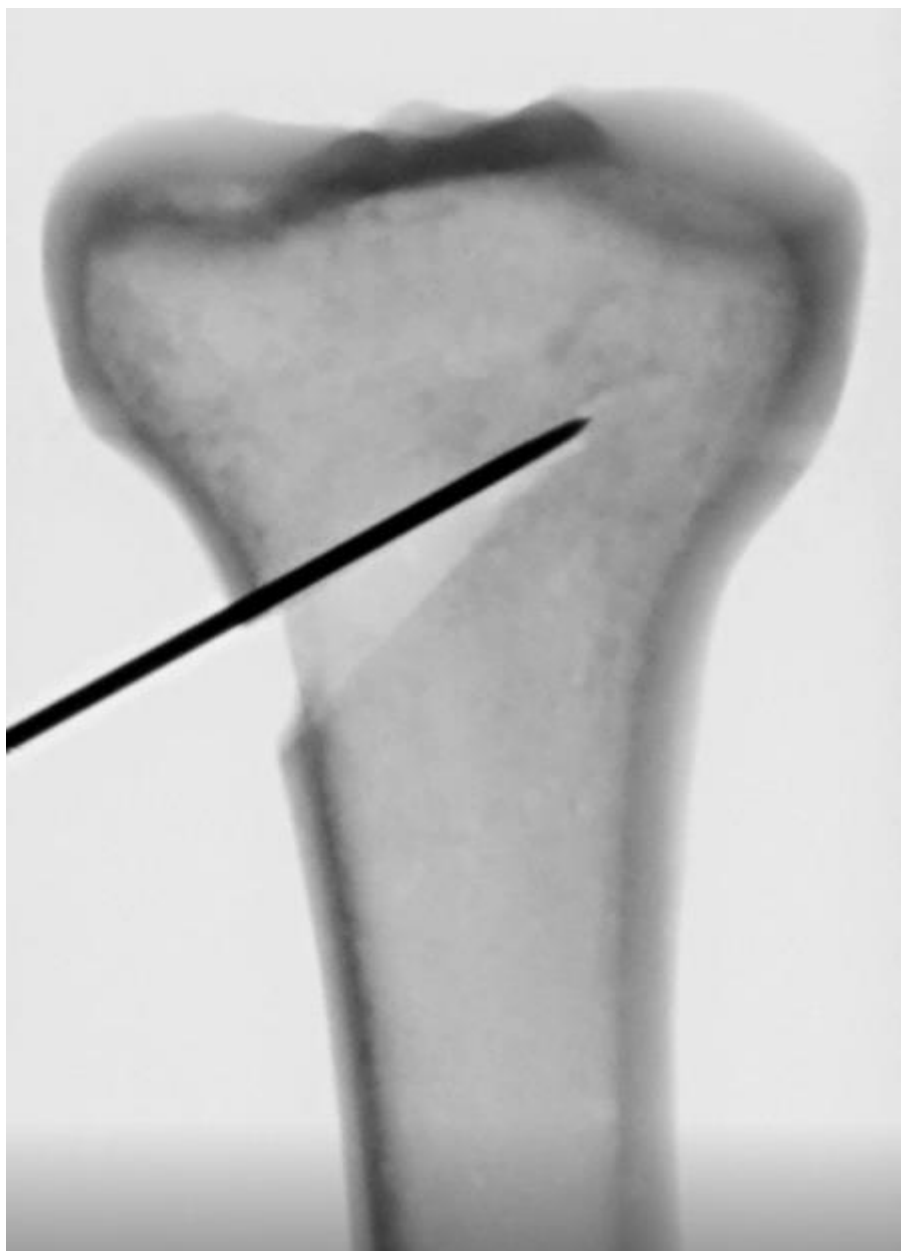
⑤ MK wedge blade は前後に振らないように注意しながら内側方向に押し当てるように切除します。



⑥ 切除の長さは、あらかじめのヒンジポイントに K-wire でマーカにするか、blade 長 (50 mm) の挿入位置で確認します。

骨切除後の画像

① レントゲン画像



Miyatani Medical

株式会社 ミヤタニ

特許 第 6431641 号

本社・工場

〒799-2656 愛媛県松山市和気町 1 丁目 446 番地 6

TEL 089-979-3794 FAX 089-979-3798

E-mail : miyatani@alpha.ocn.ne.jp

URL [http:// miyatani-medical.jp/](http://miyatani-medical.jp/)